

在留邦人の皆様へ

たびレジに登録された皆様へ

2016年6月2日

在フランス日本国大使館より

労働法改正案に反対するデモ及びストライキに関する注意喚起

1. フランスの各地で労働法の改正案に反対する抗議行動が続いています。報道等によれば、5月26日には各地でデモ隊と警察が衝突し、パリやナントでは覆面のデモ参加者が商店の窓ガラスを割るなど暴徒化したため、警察の機動隊が催涙ガスを使用してデモ隊を解散させる結果となりました。

2. また、各地で以下のような労働法反対のストライキを行っていることから、生活状況にも支障・混乱が見られています。

(1) トラック運転手等により一部の燃料貯蔵庫や製油所が封鎖

→ ブルターニュ、ノルマンディーを中心にガソリンが不足し、燃料を求めてガソリンスタンドに長蛇の列ができた。

(2) SNCF（フランス国鉄）やRATP（パリ市交通公団）の労働組合が無期限のストライキを表明

→ TGVやメトロ、バスが通常運行より減数となっている。

(3) 電力部門の労働組合によるストライキ

→ EDF（フランス電力）の電力供給に影響が出る可能性がある。

(4) フランス管制機関によるストライキ及びエールフランス航空の操縦士組合もストライキを表明

→ 6月20日のAF292便（パリ発大阪着）及び6月21日のAF291便（大阪発パリ着）が欠航を決定するなど航空便に影響。

3. つきましては、フランスに渡航・滞在する予定の方及び既に滞在中の方は、不測の事態に巻き込まれることがないように、(1) デモ・集会場所など多くの人が騒いでいる場所には近付かない。(2) テレビ・インターネット等の報道で、最新のデモ・集会及び治安状況に関する情報の入手に努める。(3) 政治的な言動は控える。など安全対策を十分に心掛けてください。また、各労働組合のストライキは今後も続く可能性が高く、交通機関に遅延・キャンセルが発生する可能性がありますので、十分な時間的余裕を持って行動してください。

（ご参考：関連ウェブサイト）

S N C F (フランス国鉄) :

<http://www.sncf.com/> (英語ページあり)

R A T P (パリ市交通公団)

<http://www.ratp.fr/> (日本語ページあり)

A D P (パリ空港公団) :

<http://www.parisaeroport.fr/homepage> (英語ページあり)

(問い合わせ窓口)

在フランス日本国大使館

住所 : 7, Avenue Hoche, 75008, Paris, France

電話 : (市外局番 01) 4888-6200

国外からは (国番号 33) -1-4888-6200

F A X : (市外局番 01) 4227-5081

国外からは (国番号 33) -1-4227-5081

ホームページ : <http://www.fr.emb-japan.go.jp/jp/>